

蓮遊水地だより

回覧

令和5年12月号(No.4)
隔 月 発行
国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所

蓮区公共事業対策委員会

令和5年12月13日18:30より開催された、蓮区公共事業対策委員会へ出席し、事業の進捗状況など、次の事項について飯山市とともにご報告いたしました。

＜蓮遊水地整備に関する現状報告＞

1. 現地調査、境界立ち会い実施報告
令和5年度に実施した、測量、用地調査、地質調査について
2. 相談会、ヒアリング、アンケート調査結果報告
令和5年度に実施した、「耕作希望者への聞き取り」「用地取得に係る相談会」及び「土地の埋立てに係る意向調査」について
3. 遊水地内での水田等占用について
4. 遊水地内利用に係る調整状況
5. その他（連絡事項など）



現状報告3. では、「遊水地内で水田や畑として占用（特定の者が継続的に敷地を使用すること）許可ができるようになったこと」を当方から報告いたしました。このことを受けて現状報告4. では、飯山市から「水田利用を行うにつけ、維持管理軽減対策、作業効率化を図るための耕作箇所集約化や施設老朽化対策などの検討、水田など利用を図る上での長野県との調整を実施していること」の報告がありました。

今後も、国、飯山市が連携し、遊水地内の利用方策の検討・調整を進めてまいります。

地質調査を実施しました

11月に地区回覧でお知らせした地質調査について、令和5年12月13～15日にかけて実施をしました。

今回は、電気探査という地表面で計測機器を牽引して調査を行うもので、掘削することなく、連続的に地面下の地質の状況を把握することができます。

昨年度のボーリング調査と本調査により、複雑な地質構造を解明し、周囲堤の構造を検討してまいります。



用地境界確認の実施

幅杭（事業用地を明示する杭）を設置した宮沢川左岸～中山根住宅地周辺にかけて、令和5年10月26、27日に地権者様に用地境界のご確認をいただきました。お忙しい中ご足労いただきありがとうございました。

その他、用地調査から2年経過していることから、再度現地確認を実施しました。



立会の様子

用語解説 遊水地を構成する構造物について

遊水地の機能や遊水地を構成する堤防等の構造物について解説いたします。

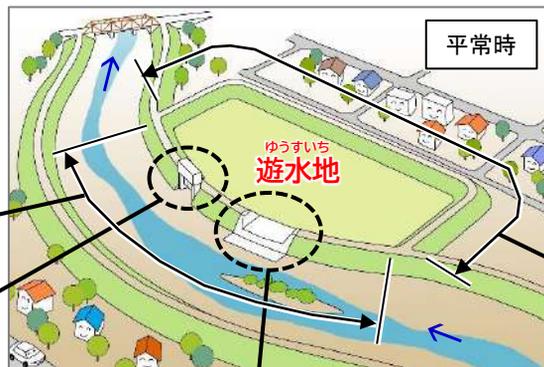
【遊水地の機能と効果】

- 洪水によって千曲川の水位が上昇した際に、越流堤から水を取り込んで遊水地内に一時的に水を貯め込む“池”として機能します。
- これにより、遊水地整備箇所を含め、下流側の水位を低下させる効果があります。

【遊水地を構成する構造物】

いぎょうてい 【囲繞堤】

千曲川と遊水地を区切るための堤防です。蓮遊水地では、現在の堤防がその役割を担います。



はいすいひもん 【排水樋門】

千曲川の洪水の水位が下がった際に、遊水地に一時的に貯め込んだ水を千曲川に戻すための施設です。上池、下池、それぞれに設置します。

えつりゅうてい 【越流堤】

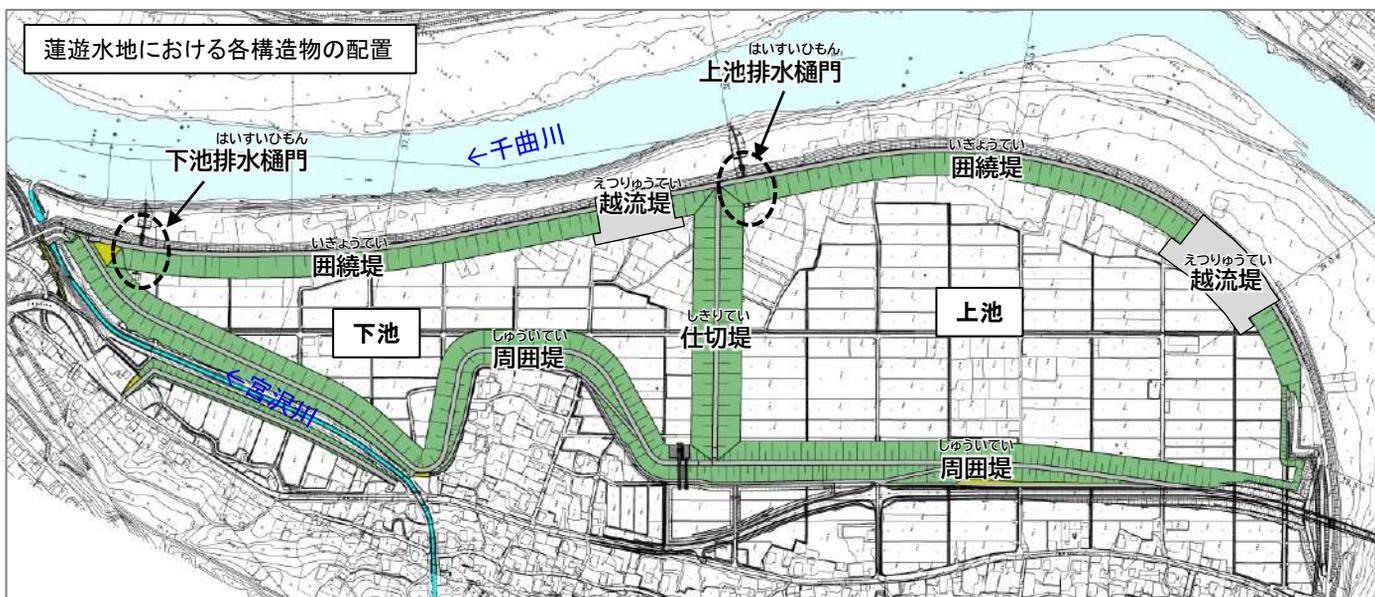
千曲川の水を取り込むため、囲繞堤の一部を低くした堤防です。越流水で壊れないよう、コンクリート等で頑丈な構造とします。

しゅううてい 【周囲堤】

遊水地の周りを囲うための堤防です。遊水地が設置される区間では、周囲堤が河川堤防と同じ役割を担います。

しきりてい 【仕切堤】

千曲川の堤防高は、河川の勾配に従い下流に向かって低くなっていきます。これに対して、遊水地には水平に水が溜まるため、最も低い下流側の堤防高が全体の貯水量に影響を与えます。このため、上流から下流まで約2.5kmある蓮遊水地では、途中に仕切堤を設けることで遊水地の容量を効率的に使う計画です。



※図面は、測量調査、地元調整などにより変更となることがあります。

お問合せ先

- 事業全般に関すること
- 用地補償に関すること

千曲川緊急治水対策出張所
千曲川河川事務所 用地第三課

電話 0269-67-0450
電話 026-227-7613